

八文 高等学校定時制課程 令和8年度 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： (情報 I 日本文教出版)

- 教科 情報 の目標：
- 【知識及び技能】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身につけていること。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけていること。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身につけていること。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人とのかかわりについて理解を深めるようになる。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
21: A 情報で問題を解決する 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報社会の問題の解決に役立てようとする態度を養う。	・情報モラルについて理解を進める。 ・メディアリテラシーを身に付けさせる。 ・Wordの習得をさせる。 ・Teamsの基本的な使い方を教える。 ・著作権への理解を深める。 ・情報技術の発展について理解させる。	【知識・技能】 ・情報の特性から情報とは何か理解できる。 ・情報やメディアの特性を理解できる。 ・情報に関する法規や制度があることを理解できる。 ・個人情報やどのようなものか理解できる。 ・個人情報が流出・特定される仕組みを理解できる。 ・著作権の内容を理解できる。 ・情報技術による社会・生活の変化が理解できる。 ・情報化による健康への影響などの「影」の部分を理解できる。 ・デジタルデバインドとユニバーサルデザインを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・各メディアのメリット、デメリットが判断できる。 ・情報モラルに配慮して情報を発信することができる。 ・SNS等で加害者や被害者にならないための対応が判断できる。 ・セキュリティ上よいとされるパスワードはどのようなものか判断できる。 ・学校で利用できる著作物を判断できる。 ・電子マネーと現金のメリットとデメリットを考察することができる。 ・サイバー犯罪への対応を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「情報デザイン」についての理解を深めようとしている。 ・学んだWordの技術で、新たな文章を作成しようとしている。 ・情報モラルを理解し、生徒自身がメディアを使うときのルールやマナーを再確認し、日常生活に生かそうとしている。	○	○	○	14
1 学期 B. 情報を伝える 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解すること。情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する。メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択すること。コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善すること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する活動を通して、情報社会の問題の解決に役立てようとする態度を養う。メディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通して、情報技術を駆使し、伝える態度を養う。	・2進数について理解をする。 ・音や画像をデジタル表現する際の工程を学ぶ。 ・コンピュータにおける色の表現方法について学ぶ。 ・情報デザインについて学ぶ。 ・ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・Excelの基礎を習得させる。	【知識・技能】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を、その変遷も踏まえて理解できる。 ・ネットコミュニケーションの特性を理解できる。 ・匿名性のメリット、デメリットを理解できる。 ・2進法、10進法、16進法の仕組みが理解できる。 ・文字コードが理解できる。 ・デジタル化の標本化、量子化、符号化が理解できる。 ・光と色の三原色を理解できる。 ・動画の仕組みが理解できる。 ・画像や音声の圧縮形式を理解できる。 ・情報デザインの目的を理解できる。 ・抽象化、可視化、構造化の方法を理解できる。 ・ユニバーサルデザインについて理解できる。 ・ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解できる。 ・情報デザインのプロセスを理解できる。 ・デザイン思考に基づいた分析を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から適切な情報の表現ができる。 ・通信メディアの進歩による社会や生活の変化を考察することができる。 ・デジタルデータとアナログデータを区別できる。 ・デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを考察することができる。 ・画像や音声の圧縮形式は何であるか判断できる。 ・情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できる。 ・ユーザインタフェースの問題点を考察することができる。 ・想定したユーザの考えや行動を分析できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・WordやExcelの技術を生かして、様々な資料をまとめようとしている。 ・WordやExcelの技術を生かして、情報デザインに関する理解を深めようとしている。 ・ユニバーサルデザインに即した情報デザインを作成しようとしている。	○	○	○	13
振り返り			○	○	○	1

